高村光太郎記念館
ミニギャラリー

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

4 質の高い教育をみんなに

17 パートナーシップで目標を達成しよう

智恵子のエプロン復刻展示

岩手県立花巻南高等学校家庭クラブ制作

智恵子デザインの
エプロンを高校生が
つくりました
素敵なエプロンと
制作過程を展示

令和７年7/15(火)～8/21(木)

＊8/4（月）10時から　高校生から来館者に手作りしおりプレゼント（なくなり次第終了）＊

高村光太郎記念館

岩手県花巻市太田 3-85-1　☎0198-28-3012

高村光太郎氏の御宅に伺つたとき、手を拭きながら出ていらしつた夫人が、ほんとうに面白い前掛をかけてゐらつしやいました。何だかわからない厚地の渋い茶色に印度更紗を取り合せてある、めづらしい形ちのものでした。早速拝借して来たのがこの写真のものです。

布地はお酒をしぼる時に使つた袋なのです。色も厚さも丁度ズツクのやうで、これに古代更紗でふちが取つてあるのです。エプロンの中央には随分大きなポケツトがついて居ります。このポケツトは大変役にたつので、お炊事の時に一寸ふきんをはさんでおいたり、お仕事の時は、鋏や絲など失しやすいものを入れておいたりすることが出来ます。而もその形が如何にも大まかなので、よく全体の調和を保つてゐるのです。

何でも有り合せの布を利用して、うまく配合させると、中々面白いものになります。夫人がもう一つ見せて下すつたのは形は同じで、キヤラコの地に、水色の四角な輪を散つてゐる麻布を取り合せてありました。大変すゞしさうに見えました。雑ぱくな仕事着よりずつと趣味が豊かで上品なかんじがいたします。一寸したお客様の時なら着たまゝで出てもさしつかへはないでせう。

作り方は左の図をごらんになればすぐわかります。これは頸にかける紐が輪になつてゐますが、髪が崩れる恐れがありますから、紐の中央を裁つてホツク止めにするか、紐の一方の端だけはなしておいてこれにスナツプをつけ、胸の三角形の所にとめ合せるやうに工夫したらよいでせう。着物の場合、袂は左右についてゐるひもでしつかり結ぶと大丈夫となります。

『婦人之友』第 18 巻第 7 号（大正 13 年）の記事

今回展示するエプロン
（花巻南高校家庭クラブ制作）

何だか現代でも売っていそうなデザインですね。大正末といえば、まだ婦人は和装が中心だったのではないかと思われ、家事の際にはエプロンより割烹着的なものが多かったのではないでしょうか。その時代にこのエプロン、斬新だったかもしれません。

素材が「お酒をしぼる時に使つた袋」ということで、智恵子は福島の実家・長沼酒造から持ち帰ったのではないでしょうか。

同運営委員会代表　小山弘明氏
「高村光太郎連翹忌運営委員会 blog」より

同時開催事業

令和 7 年度特別展
「中原綾子への手紙」　令和 7 年 4/26（土）～ 令和 8 年 2/28（土）

高村光太郎疎開 80 年企画展
「昔なつかし花巻駅」　令和 7 年 7/12（土）～ 11/30（日）

高村光太郎記念館　開館午前 8 時 30 分　閉館午後 4 時 30 分　休館日 12 月 28 日～ 1 月 3 日
入館料　一般 350 円　高校生・学生 250 円　小中学生 150 円　（20 人以上の団体は一人あたり 50 円割引）